

第16回 いわて希望ファンド

第13回 いわて農商工連携ファンド

公募中です 4/8(月)まで

利用を検討される方は、お気軽にご相談ください

いわて希望ファンド 地域活性化支援事業

県内中小企業等の革新的・個性的な取り組みにより、地域経済の活性化を図るため、創業、経営革新、中心市街地活性化に向けた取組などについて、助成金交付による総合的な支援を行います。

起業・新事業活動支援事業

創業・企業や経営の革新に資する中小企業等の以下の取り組みを支援

- 市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等

対象者	<ul style="list-style-type: none"> ● 創業する者 ● 中小企業者(法人または個人事業者) ● 特定非営利活動法人、農事組合法人等(地域資源活用枠のみ)
(1) 地域資源活用枠	(2) 起業・経営革新枠
「地域資源」(農林水産物、鉱工業品またはその生産技術、文化財等の観光資源など)を活用する事業	創業者(創業・起業から3年以内)が取り組む事業または経営革新計画の承認を受けた事業
助成率 助成限度額	助成率 助成限度額
1/2以内 200万円 (沿岸・東北広域振興局管内は2/3以内)	1/2以内 500万円
助成期間	助成期間
1年間 (※継続3年以内 (毎年審査))	1年間 (※継続3年以内 (毎年審査))

中心市街地活性化支援事業

中心市街地や商店街の活性化に向けての革新的な以下の取り組みを支援

- 市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等

対象者	<ul style="list-style-type: none"> ● 中心市街地の活性化に関する法律第15条第1項各号に掲げる者 ● 小売・サービス業を営む、県内に住所のある中小企業者(法人または個人事業者) ● 商工会、商工会議所、商店街振興組合、事業協同組合 ● 知事が適当と認める特定非営利活動法人
助成率 助成限度額	9/10以内 200万円
助成期間	1年間(※継続3年以内(毎年審査))

支援機関による支援事業

中小企業者が実施する起業・経営革新等を支援する事業を行う支援機関の取り組み支援

第15回いわて希望ファンド地域活性化支援事業採択一覧

第15回いわて希望ファンド地域活性化支援事業について、平成25年1月16日開催された外部委員による審査委員会において、下記の事業が採択されました。

区分	企業・組合名	所在地	事業内容
地域資源	三陸鉄道(株)	宮古市	「鉄道ダンシ」による地域活性化とプラットフォームビジネスの展開
	(株)ドリームラボ	盛岡市	岩手県産にこだわった「野菜のおいしさ」を伝える食品の開発
	喫茶イーハトーブ	盛岡市	三陸鉄道の風景を立体的に見せるチョコレートの開発
	ゴウちゃんのコロック屋	盛岡市	ゴウちゃんのコロック屋発!! 岩手の食を全国へ
	合同会社東北発酵研究所	二戸市	米ぬか・かき殻などを活用した天然素材100%の有機肥料の開発
	岩手県菓子工業組合	盛岡市	「頑張れ岩手! 県産の食材を活用した“ご当地スイーツ”の開発と全国に向けた発信事業
経営革新	(有)日三エンジニアリング	北上市	移動式精密レーザー溶接システムの開発
支援機関	(地独)岩手県工業技術センター	盛岡市	食品産業商品力向上支援並びに販路開拓支援事業の実施

いわて農商工連携ファンド 地域活性化支援事業

本県の地域経済の重要な担い手である農林水産業と中小企業者との連携(農商工連携)を強化し、相乗効果を発揮していくことで地域経済の活性化を図るため、中小企業者と農林漁業者の連携体が行う創業や新たな事業展開等への支援を行います。

起業・新事業活動支援事業

創業者または経営の革新を行う中小企業者と農林漁業者の連携体による、以下の取り組みを支援

- 市場調査・動向調査、新商品・新技術・新役務の開発または事業化、販路開拓、人材養成等

対象者	<ul style="list-style-type: none"> ● 県内の中小企業者と農林漁業者の連携体 → 農林漁業者とは、農業、林業、漁業を行う者及びこれらの組織する団体(農協、森林組合、漁業、連合会も可) ● 中小企業者以外で、県内の特定非営利活動法人等と農林漁業者の連携体(注)申請は、中小企業者と農林漁業者の連名で行い、どちらか一方を代表者と定め、センターとの連絡・助成金の受領等を行う
助成率 助成限度額	2/3以内 500万円 (農商工等連携事業計画の認定を受けている場合は3/4以内)
助成期間	1年間(※継続3年以内(毎年審査))

支援機関による支援事業

農商工連携による起業・新事業活動等を支援する事業を行う支援機関の取り組み支援

●農商工連携の基本的要件


- 1 有機的連携**
中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用すること
 - ◆「有機的連携」とは、通常の事業範囲を超えて両者が連携することを指します。
 - ◆「経営資源を有効に活用」とは、両者の有する設備、技術、個人の有する知識及び技能その他ビジネスノウハウ、知的財産等が、本事業を実施するために具体的、かつ有効に用いられていることを指します。
- 2 新商品の開発等**
事業により、新商品若しくは新役務の開発、生産または需要の開拓が実現すること
 - ◆「新商品若しくは新役務(サービス)」とは、事業実施主体にとって、これまでに開発、生産したことのない新たな商品または役務であることが必要です。

●農商工連携の事例～エゴマ調味料の事例～

中小企業者(調味料メーカー)
大豆・小麦アレルギーが発生しない新たなエゴマ利用調味料の施策や岩手県産の食材と組み合わせたレシピ開発等を進め、販路開拓を図る。

農林漁業者(農業者)
エゴマは、健康食品として注目を集めている。農業や化学肥料を使わない生産を進め、研修会や産地の情報発信を行う。

連携
それぞれが工夫を凝らした取り組み!

新商品開発!


第12回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業採択一覧

第12回いわて農商工連携ファンド地域活性化支援事業について、平成25年1月16日開催された外部委員による審査委員会において、下記の事業が採択されました。

区分	企業・組合名	所在地	事業内容
起業・新事業	(株)南部美人 (連携者:新岩手農業協同組合)	二戸市 (滝沢村)	岩手県産果実を使った糖類無添加リキュールの開発と販路開拓
	(有)秀吉 (連携者:マルテン水産)	盛岡市 (陸前高田市)	「おらほの」海産物・農産物のオーナー制によるいわての食材の販路開拓(継続2年目)
	きのこのSATO(株) (連携者:(株)ネクス)	陸前高田市 (花巻市)	ITを活用した「栽培管理システム」のモデル構築を加えた高品質きのこ栽培と販路開拓

●手続きの流れ



お問い合わせお申し込みは **産業支援グループ**

(いわて希望ファンド担当/岸敦 いわて農商工連携ファンド担当/伊藤利光)
TEL019-631-3824 FAX019-631-3830 メール joh@joho-iwate.or.jp